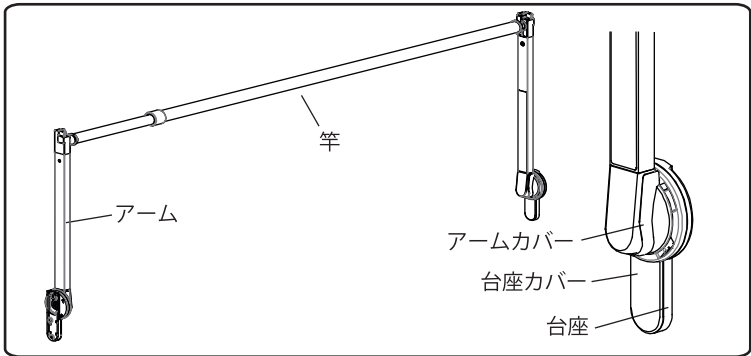


施工説明書

■施工される方へのお願い

- お客様にこの物干しを正しくご使用いただくために、施工説明書をよくお読みになり、指定された取付けを行ってください。
- 施工終了後に、取扱説明書に従って、操作確認を行ってください。

各部名称



部品明細

製品は2梱包になります。
下図に描かれた部品が揃っているかご確認ください。

■アーム部梱包（この梱包）

■アーム部…1組	■タッピンねじ…6本	■位置決め用型紙…1組
左側 右側	皿 4.8×40	左用 右用

■竿部梱包（別梱包になります。）

■竿部…1組	品番	窓枠うちのり幅
細パイプ	SH-18	1,450 ~ 2,100 mm (パイプ寸法: 1,135 mm)
太パイプ	SH-25	2,000 ~ 2,560 mm (パイプ寸法: 1,585 mm)

取付場所の確認

■施工条件

●適応するサッシの高さは1,900～2,100mm、うちのり幅は下図を参照してください。

●アーム取付場所はサッシ額縁の見込み部分（35mm以上）で、十分な強度がある箇所。

見込み部分の推奨は50mm以上で、台座がアングルに被らないように取付けてください。

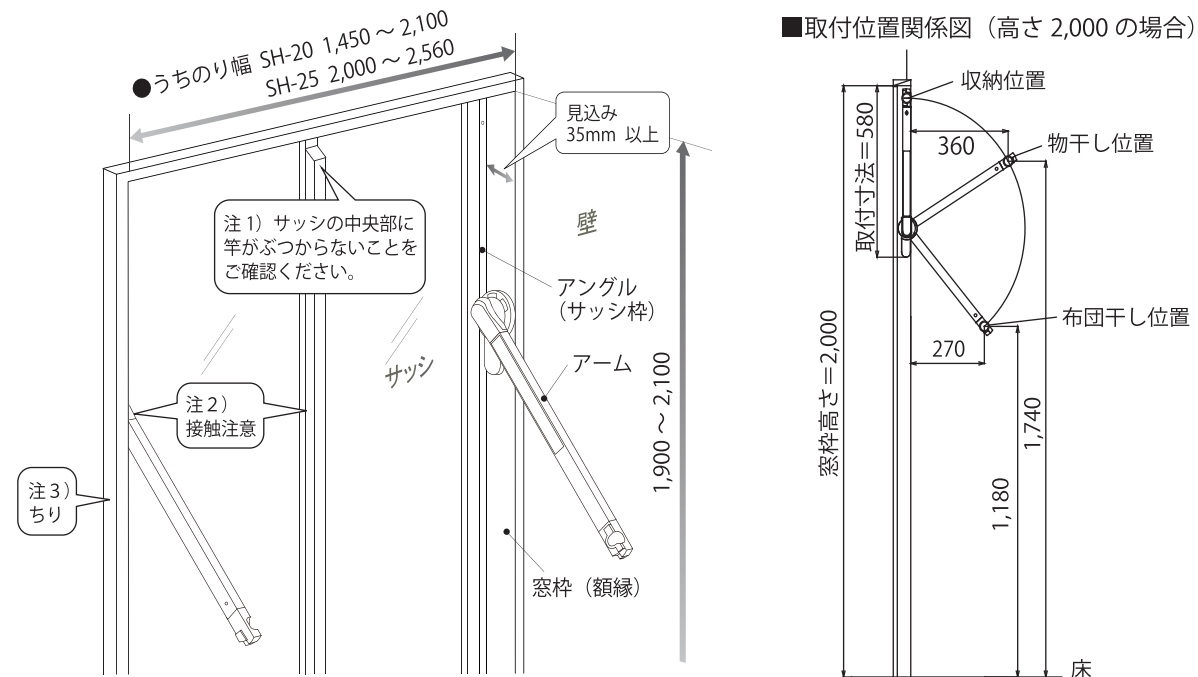
また、クロス巻込みで額縁のない場合は、クロスの下に9mm以上の木の下地が必要となります。

●なお、台座がアングルに被る場合は以下の（注1）～（注3）項の確認が必要となります。

（注1）サッシの中央部の縦枠が大きく、アングル（サッシ枠）より前に出ているものは、竿に接触する恐れがあります。

（注2）台座をアングルに被せて取付けた場合、右側のサッシを左に寄せた時に、左側アームの下側が、サッシと接触する場合があります。その場合、アングル（サッシ枠）から台座を15mm以上離して施工してください。

（注3）額縁の手前に取付ける場合には、取付ねじがちり部分から、とび出ないように注意してください。



取付方法

- 位置決め用型紙を窓枠（額縁）にあて、前後方向の位置を確認し、任意の位置で点線を切り取ります。
（右側の窓枠には右用の型紙を、左側の窓枠には左用の型紙をご使用ください。）
- 型紙の上端を窓枠の上角部に合わせ、テープなどで仮止めします。
- 図の1ヶ所（中央）をキリなどを使って印を付け、型紙を外します。次に、木の硬さに応じてΦ2.5～Φ3.0のドリルで窓枠に下穴を開けます。
注）下穴を開けない場合、木が割れることもあります。
- ロールスクリーンやブラインド等のある窓枠へ取付ける場合、取付け位置によっては接触する場合があります。
施工の際には竿の動き等を確認の上、取付け位置を決めてください。
- 台座カバーとアームカバーを外してください。
（台座カバーは裏側より4ヶ所のツメを押してください。
アームカバーはスキマを利用して引張ってください。）
- 窓枠の下穴に台座の中央の穴を合わせ、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。
- 反対側の窓枠も1～5の作業を同様に行います。

- 次にアームの位置を調整します。まず、アームが窓枠と平行になるように調整し、さらにアームを手前に出したときに、左右のアームの高さが同じになるようにメジャー等を使って微調整します。
- 台座の下側の穴からドリルで窓枠に下穴を開けてから、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。
- 次にアームを物干しの位置に移動させます。続いて台座の上側の穴からドリルで窓枠に下穴を開けてから、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。最後に全てのねじが、しっかり止まっているか確認してください。しっかり止まっていないと破損の原因になります。
- で外した台座カバーとアームカバーを取付けます。
- 細いパイプと太いパイプを組み合わせます。
- アームの先端の穴に竿端部のボールを差し込みます。
（ロックがかかり、外れないことを確認してください。）
反対側も同様に取り付けます。
最後に取扱説明書に従って操作確認を行ってください。
なお、異常のある場合は、ご使用にならないでください。